

Dear 【親愛なる】菅北地域にお住まいのみなさまへ
Dear 【かわいい】菅北の子ども達へ

菅北地域活動協議会 広報委員会
〒530-0033 大阪府北区池田町 1-50
菅北福祉会館内
電話：06-6882-4133

菅北地域活動協議会設立にあたって

ふれあいと温もりのある町づくりを目指して



荒起会長

このたび「菅北地域活動協議会」(以下、菅北地活協)が、小学校区を基本とする地域の組織として発足しました。「地域防犯・防災・環境」「地域福祉・健康」「子ども・青少年」「地域コミュニティ」「広報」の5部会が立ち上がったこととなります。

この菅北地域は、日本一長い商店街、天神橋筋商店街の4丁目から6丁目があり、小売店や飲食店、そして企業などが一体になりながら、活気ある商業の町となっています。

また、ひとつの町会が出来る位の大型マンションや高層マンション等も建てられていて、昔ながらの様相が変わりつつある町でもあります。

こうした新しい住民が増える一方、従来から地域活動を中心に行ってこられた方々の高齢化が進んでいます。

この菅北地域が抱える課題としては、社会や家族のつながりの希薄化や無関心が挙げられ、コミュニティとしてのつながりや助け合い(共助)の不足が生じて来ている事です。そして、町会などの加入率の低下も、将来に向けての大きな不安材料となっています。

こうした課題へのアプローチのひとつとして、新しい人も昔からいる人も自らの町のことは自らが決める、という基本に立ちかえり、地域の将来像を見据え、ふれあいと温もりのある町づくりを進めるために菅北地活協を活用してもらいたいと考えます。

今年度の菅北地活協の活動として、菅北連合地域振興町会を中心に菅北社会福祉協議会、そして各種団体、町会等の総力を結集して、「菅北カーニバル」「菅北敬老の日を祝う会」を開催しました。

また、各団体とも、自らの理念のもと、特色ある活動を計画・実施して頂きました。ご苦勞様です。(この創刊号にも一部掲載しております。どうかご覧ください。)

菅北地活協は、活気あふれる住みやすい町にすることを目標に各団体との相互協力やこれからの地域を担う若手リーダーへの世代間交代を進め、多くの住民がコミュニティに参加できることに尽力をつくじりたいと考えます。今後とも宜しくお願ひ致します。

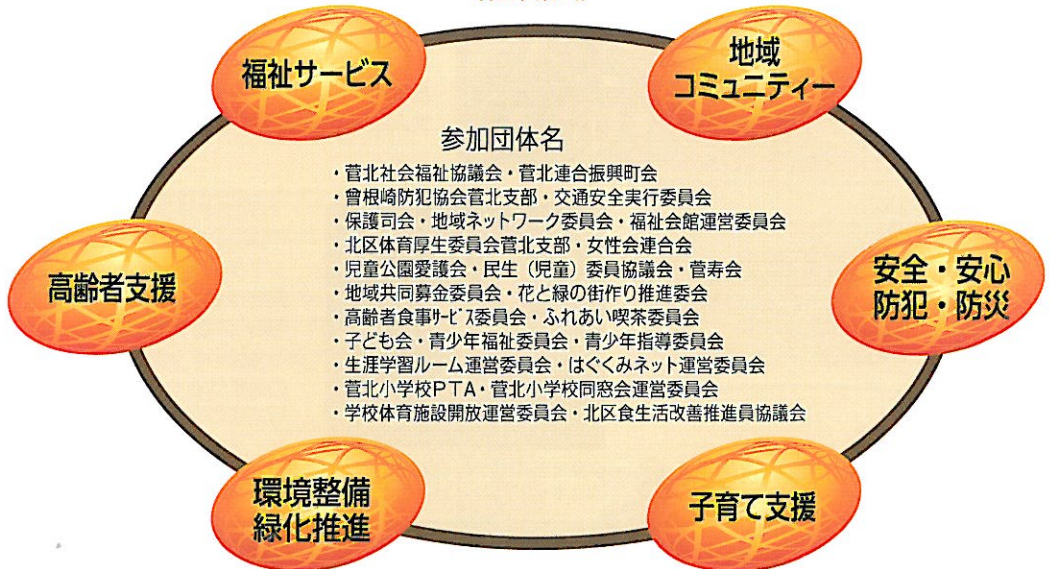
菅北地域活動協議会

会長 荒起 秀多



菅北地区の航空写真

菅北地域活動協議会 (組織表)



平成25年度 役員名簿

会長	荒起 秀多
副会長	内海 茂
総務部会長	
副会長	城谷 喬
防災防犯部会長	
副会長	井上 治之
福利厚生部会長	
副会長	奥村 憲嘉
環境保健部会長	
副会長	竹中 眞須子
高齢者部会長	
副会長	瀬尾 晃司
青少年部会長	
会計	三野 扶美
会計	竹中 眞須子
幹事	野村 茂夫

編集委員より



どうか創刊号が出来上がった。地域の活動を周知するために広報委員会を設立する事になり召集されたメンバーが16名。顔見知りの中、初めての人もいる中、役割分担をして記事の取材へと向かった。テーマと格闘しながら、わずか1ヶ月で創刊号が出来上がったのには各人の行動力があつたと地域の人たちの協力があつたからだ。そして、誰もがコミュニティの重要性を認識していたからだと思う。次号に向けて、メンバーはもう次のテーマに組んでいる。

この活動が地域活性につながると信じているから。(創刊号編集担当S)

妙見山ピクニック

自然の雄大さ、体力の向上、仲間との協力

今年度、子ども会最大の行事として「妙見山ハイキング」を計画・実施致しました。当日までに、2回の現地下見を行い有意義な1日になるよう準備を進めてきました。

今回のハイキングでは、体力向上と子ども達に自然の雄大さ、仲間との協力の大切さを学んでもらう事を目的としました。

11月9日(土)快晴、ハイキング日和、集まった参加者は子ども36名、大人19名、総勢55名の大所帯です。今回は電車移動で目的地まで行くため6班に分け、班毎での行動や点呼を行い安全の確保に努めました。行程は、天神橋筋6丁目～淡路～十三～川西能勢口～妙見口までと3回もの乗り換えがあります。電車内では、大騒ぎする子ども達を注意し、周りの乗客に気を遣いながらの移動になりました。

妙見口からケーブルに乗る黒川駅までは約30分のなだらかな坂道です。ここで早くも「しんどい」「お腹空いた」という子どももいましたが、澄んだ空気で柿もたわわに実り、秋を感じる道のりでした。そして黒川駅からケーブルに乗ると子ども達は、色づきはじめた紅葉とケーブルカーの速度に興奮し、山の素晴らしさを感じているようでした。

妙見山での散策を終えると次は、待ちに待ったバーベキューです。山道でへたっていた子ども達も大はしゃぎで、お肉を焼い



ていきます。

それぞれの性格が表れ、お皿に乗せてもらうまで待つ子、自分で焼いて食べようとする子、子どもの間でも役割分担ができてきて、社会人になっても必要な協調性を身につけていると感じました。食後、遊具で遊んでいる時も上級生と下級生のなかで自然とルールができ、他の団体の小さな子に気を遣いながら遊んでいるのを見て成長を感じました。

帰り道、側溝のサワガニを見つけては黒山の人だかり、持って帰ろうと珍しがらる子ども達は、さすがに「都会っ子だなあ」と思ってしまいました。このハイキングで改めて思ったことは、子どもは大人が考える以上に大人の様子を窺って行動しているということです。大人が頭ごなしに「あれだめ、これだめ」では逆にすねてしまいます。どうしてダメなのかを説明し理解できるように「さとす」ことが大切なのです。

子ども会では、今回の反省もふまえて来年もまた新たな取り組みを行います。

乞う、ご期待!!



菅北キャンプ / びわ湖1泊2日

8月3日・4日菅北青少年指導委員会(通称:青指)主催のキャンプがありました。行き先はびわ湖青少年の家。参加者は小学4年から6年の男女31名と中学生リーダー10名、大人22名で活動にあたりました。



かんぼくんの独り言その1
担任の怖いS先生がいらないと思うだけでラッキー! お昼に集合してとなりのK君とおしゃべりしたら怒られたー



夕食を食べ終わり、辺りが暗くなると次はキャンプファイヤーです。



かんぼくんの独り言その2
「セイシ」のおっちゃんらは、宿のおねえさんを前になぜかエキサイトしてはった。みんなで歌を歌って踊って、クイズ答えて、手をつないで、サイコーに楽しかった。けど火も燃え尽きて終わっちゃった。おっちゃんらも燃え尽きてたわ。



『菅北キャンプ』は、菅北青少年指導員や菅北小学校卒業生を中心にした中高生のジュニアリーダー指導のもと、子ども達が野外炊事・宿泊体験・キャンプファイヤーなどを通じて、違う学年の友達と協力・協調することを学び、家庭や地域の生活の中でそれらを活かすことができる子どもを育てることを目的として実施しています。

今回のキャンプは、びわ湖の特徴を活かしたカッターボード・湖水浴などの活動体験や3食ともに自分たちで食事を作るなど、多彩なプログラムの中で笑顔の絶えないキャンプとなりました。

かんぼくんの独り言その3
さあこれから家の晩ごはん。何から母さんに話そうかな。ようけりすぎて困るわ。うわっ嫌いなニンジンがてんこ盛りや。でもせっかく作ってくれてるんやから食べてみよ。おいしいやないの、全部食べてしもた。なんとなく自分の食器を自分で流しに下げたら母さんがニコニコしてた。
(>_<) さあ風呂入って寝るで!
ボクの夏休みはまだ終われへんで。





菅北カーニバル (盆踊り)

天神祭のお膝元であるこの菅北地域には、もう一つ住民に愛されるお祭りがあります。天神祭から約1カ月後に開催される「菅北カーニバル」です。このお祭りは、地域活動協議会に参加する全ての団体がその総力を上げて取り組む菅北地域最大のイベントとなります。今回は、その団体の中でも細やかな心遣いをして頂いている「女性会」の活動を中心に紹介します。

女性会連合会のメンバーは10名、元気で活動的な女性方が中心です。その活動は多岐に渡り、菅北カーニバルは勿論の事、敬老の日を祝う会などの菅北地域の行事に活躍頂いています。

菅北カーニバルの準備は、5月頃からはじまります。その頃より女性会連合会も準備に入ります。また近隣の地域にも「踊り参加」をするために踊りの練習日程なども調整します。招き・招かれのお付き合いが何年も続いて地域の盆踊りの伝統を今に残しているのです。また、前日の提灯付けや器材の準備、当日の食材準備や本部テント下での接待等々、祭り終了後の後片づけまでフル稼働での参加となっています。



地域力継続のために
各団体が総力あげて取り組んでいます。

会長の友松真澄さんは、「今年は突然のゲリラ豪雨や後片付けの大雨にも負けず、皆さん手際よく片づけて下さいました。ありがとうございました。菅北カーニバルは、北区の地域の中で最後の盆踊りになります。そのため多くの方が踊って下さいます。今年も地域の役員さんの協力により、大きな踊りの輪ができました。頼もしく、うれしいことです。」と、お話し下さいました。

いつまでも子ども達にも地域住民にも愛されるお祭り「菅北カーニバル」を継承していきたいものです。

「敬老の日を祝う会」でも、女性会連合会の皆さんは、会場準備・受付・弁当配布等々、大忙しです。

ふれあい喫茶

「赤ちゃんと一緒にどうぞ。」「おじいちゃん、おばあちゃん井戸端会議してって。」「ここ（菅北）に仕事で来たん？まっジュースでも飲んでって。」と、こんなスタンスで開催されるのが、「ふれあい喫茶」です。

委員の皆さんは、いつも笑顔で明るくて、ピンクのエプロン姿がその場をいっそう華やかにしています。

フロア全部が喫茶室なので、広々として座席にも余裕があります。そして何より特筆すべきは「お味」です。どれもこれも美味しく、ここでも笑みがこぼれます。

「これで100円なの？」と、きっと驚かれることでしょう。

いろんな年齢層の方が、「ほぼ100円均一状態」のメニューを楽しめる地産な地域の活動は、元気で笑顔がいっぱいのサロンになっています。是非一度立ち寄ってみてください。「次いつやるの？」って聞いて帰りたいくなる、そんな優しい時間が流れています。

「ふれあい喫茶開催日」

日時：毎月1回 第4水曜日
13:30～15:30

場所：北区池田町1-50
(菅北福祉会館)
☎06-6882-4133

※町会掲示板にポスター貼付



笑顔が素敵な委員の皆さん。委員は18名（H25年度実績）
委員長は、竹中真須子さん。

コーヒー	¥100
ジュース	¥100
ぜんざい	¥100
わらびもち	¥100
その他	¥100
(ケーキ付き)	



この日は、お琴の演奏♪

「みんなで奏でるハーモニー」 ～児童と先生そしてかんぼくの人々～

「地域と学校と保護者と子ども達のハーモニーが何とも言えない柔らかい空間を作り、失敗しても励まし合える仲間意識と一つになれる瞬間を生み出す。」と語るのは、今年度創立92周年を迎えた菅北小学校校長大塚栄嗣先生。

この菅北小学校の特色として、商人の街大阪の「商を習う」特別な取り組みがあります。低学年は天満市場の取材をし、中学年ではお店の中で職業体験をします。そして、高学年では商店街で実際に模擬店を出す「キッズマート」を行います。子ども達はそこで食材の豊富さ、価格の安さ、売れるもの、仕入れるものを体験しながら学ぶことが出来ます。「天満市場の人は、忙しいのにやさしく話を聞いてくれた。」と子ども達の心の中に温かく残り、同時に勤勉さや商売に対する厳しさを感じ取ります。

このような取り組みで子ども達が地域の方と触れ合うことにより、感性が豊かになっていきます。地域と学校が自然に交わられる空間があると、見守られているという意識が子ども達の中に生まれ、非行防止にもつながります。

また、地域から応援してもらうことでやる気も出てきます。それが大人たちの喜びにもなります。こうして育ち合える菅北地域は温かく、会話も多い面白い地域となっています。

菅北小学校を核に、教師・PTA・地域は常に同じ思いでお互いに手を取り合い一つのハーモニーとなって、素敵な学校生活を送れるように温かく子ども達を見守っています。



校長先生にお話を伺いました。



天満市場のお店に協力して頂いて職業体験です。



天神橋筋6丁目商店街で行われるキッズマートの様子です。



菅北地域の防災活動のご紹介

東北大地震以来、南海地震などの大地震の発生が懸念される昨今、みなさんの地震や津波への関心が高まっていると思います。

実際に地震やその他の災害が起こったときには、私たちはどうしたらよいのでしょうか。このような事態で頼りになるのは、同じ地域で暮らす住民間の共助に他なりません。

菅北地域の取り組み

災害に備えて「防災研修と救急救命法の講習」事業や菅北防災リーダーを組織して訓練や講習会を独自に、または、大阪市と合同で行っています。そして、イザという時には防災リーダーが中心となって、各町会の防災担当者が避難誘導や救助を行う仕組みになっています。

住民としてはこのような災害対策の仕組みがあるのでひと安心ですが、実際には、私たち住民のひとり、ひとりが災害に備え準備をすることが重要です。

特に災害が起きたときには防災訓練等で事前の知識や疑似体験の有無によって被害にあう程度が大きく違ってきます。

行政や地域活動協議会、各自治会が行う防災訓練などの機会があれば、是非、積極的にご参加ください。

三角巾の使い方の実習です!!

消化器も使ってみましょう!!



安全・安心
防犯・防災

参加者募集

防災研修と救急救命法の講習会

日 時	平成26年2月23日(日) 9時～16時
内 容	1. 市立阿倍野防災センターでの災害体験 2. 菅北福祉会館での食事会と交流会 3. 救急救命法の講習会
参加条件	20歳以上の菅北地域住民
費 用	200円(敬老パスをお持ちの方は無料)
募集定員	先着80名
申込受付	第1回1月22日(水) 14時～16時 ※ふれあい喫茶開催時 第2回2月6日(木) 13時13～15時 ※ありんこ開催時 第3回2月9日(日) 10時～12時 菅北福祉会館にて受け付け